

コーナー名称変更

『みんなの部落問題シリーズ』から 『人権・部落問題シリーズ』へ

皆さんに慣れ親しんでいただきましたこのコーナーの名称『みんなの部落問題シリーズ』を今月から、『人権・部落問題シリーズ』と改めることにしました。

いつから始まつたの？

昭和49年1月から『部落解放シリーズ』として連載がスタートし、68回掲載しました。しかし、掲載内容が理解しにくいという声を受け、より一層読んでいただける内容にと、新たに始まつたのが、この『みんなの部落問題シリーズ』です。『みんなの部落問題シリーズ』は、昭和55年4月から今までの33年間掲載しました。

同和問題の解決に向けて

同和問題の早急な解決は国の責務であり、国民的課題です。差別のない明るい社会をつくるためには、すべての国民一人ひとりの正しい認識が必要です。

しかし、私たちの周りには、あらゆる人権問題として、男女共同参画や子ども、高齢者、障害者、外国人、その他さまざまな差別が存在しています。そ

のため、同和問題だけを解決しようとしても差別はなくなりません。

そこで、人権教育が提唱され、「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」が施行されました。市でも『人権教育・啓発基本計画』を策定し、同和問題をはじめあらゆる人権問題の解決にむけて、教育・啓発を通して市民一人ひとりの人権が保障される人権のまちづくりを目指しています。

このようなことから、名称を変更した方が分かりやすいのではと、今回から『人権・部落問題シリーズ』と改めることにしました。内容については、今までどおり部落問題をはじめとするあらゆる人権問題について考えていきます。

より一層分かりやすい紙面づくりを目指していきますので、今後ともよろしくお願いします。

なぜ名称変更するの？

『みんなの部落問題シリーズ』では、今まで部落問題の歴史をはじめ、法律や教育、同和対策事業、風習や迷信などについて、いろいろな角度から紹介し、部落問題だけに限らず、子どもや高齢者、障害者、外国人、その他いろいろな人権問題について啓発を行ってきました。



▲毎年『差別をなくすために』を発行しています。今年は、4月15日号に折込で全戸配布予定です。
ぜひ、ご覧ください。